CENTRAL SERVICE SYSTEM GROUP

2026年9月期
（2025/10－2026/9）
決算説明資料

2026年11月

株式会社CSSホールディングス
証券コード：2304

Support The Hospitality

JPX STANDARD

連結財務指標

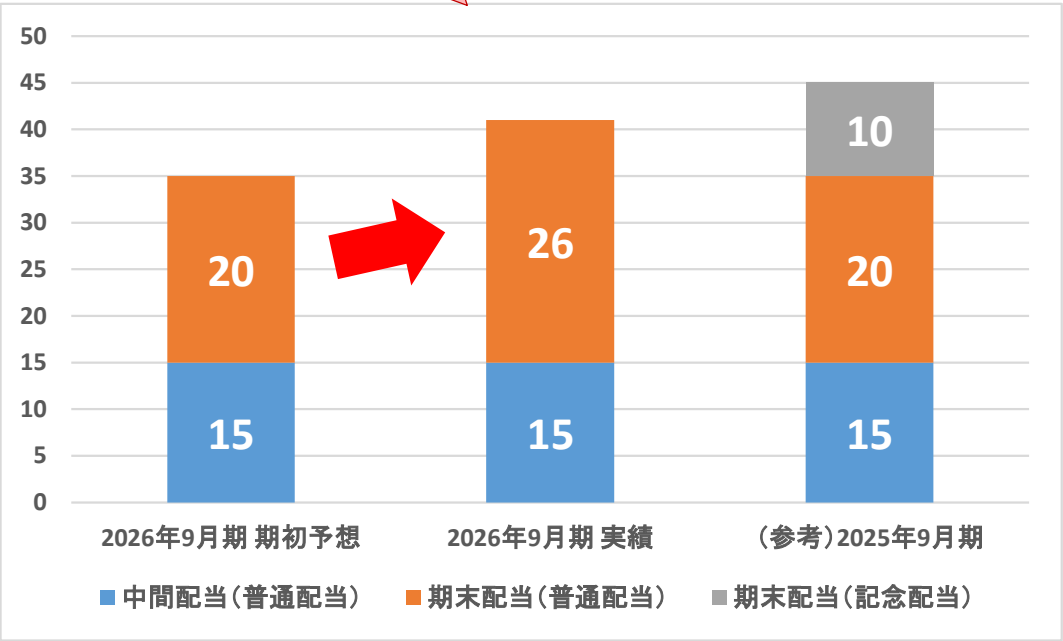
５期連続増収増益

売上高は初の200億円超、売上利益過去最高

	（単位：百万円）	2021年9月	2022年9月期	2023年9月期	2024年9月期	2025年9月期	2026年9月期	対前年差異	
P/L	売上高	9,412	10,883	14,832	17,631	19,499	20,794	＋1,295	(106.6%)
	営業利益	▲717	▲186	276	595	717	877	＋160	(122.3%)
	経常利益	34	81	313	630	742	905	＋162	(121.9%)
	当期純利益	▲420	102	230	429	587	629	＋42	(107.2%)
B/S	現預金	631	713	807	906	1,138	994	▲144	(87.3%)
	有利子負債	1,105	989	750	450	300	580	＋280	(193.3%)
	純資産	2,124	2,168	2,346	2,674	3,089	3,516	＋426	(113.8%)
	総資産	4,701	5,096	5,700	5,931	6,317	7,077	＋759	(112.0%)
C/F	営業CF	▲360	282	471	605	708	221	▲486	
	投資CF	8	▲8	▲35	▲53	▲58	▲409	▲351	
	FCF	▲351	277	435	551	649	▲188	▲837	
	財務CF	▲166	▲197	▲373	▲420	▲418	44	＋462	
	ROE 自己資本利益率	▲17.9%	4.8%	10.2%	17.1%	20.4%	19.1%	▲1.3pt	
	EPS 一株当たり当期純利益	▲83.36円	20.63円	46.08円	85.90円	117.37円	126.88円	＋9.51円	

配当（増配）と今後の方針

通期35円予想を41円に増配



株主還元の予見可能性の強化

配当方針の変更

＜変更後＞

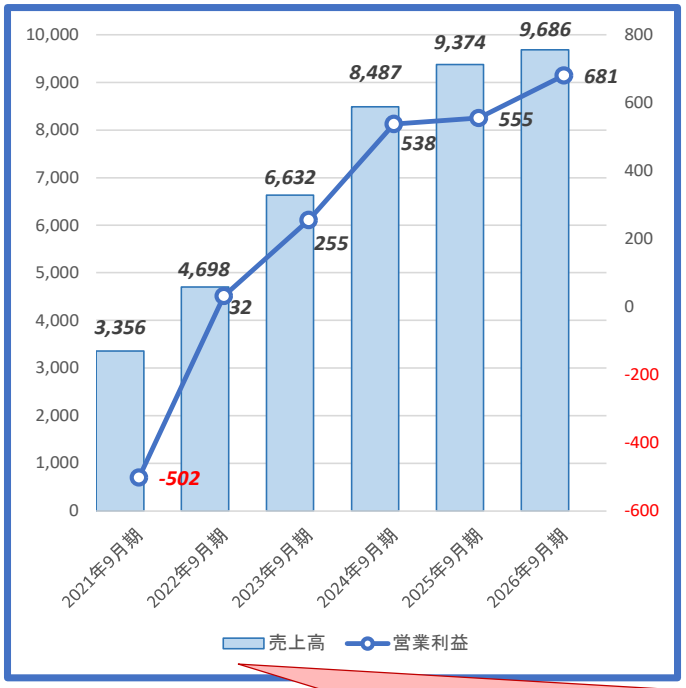
安定的かつ継続的な株主還元のために、
連結配当性向33%以上、かつ
DOE（連結株主資本配当率）3%以上
を配当基準とし、両基準を満たす配当を実施する

＜変更前＞ 増収増益達成による増配を基本に、安定的かつ継続的な利益配分を行う

各セグメントの業績推移

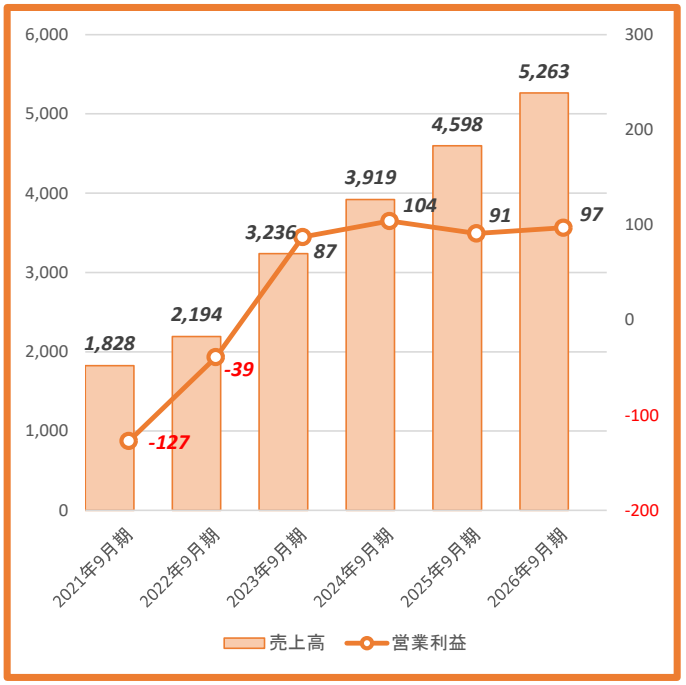
スチュワード事業

（単位：百万円）



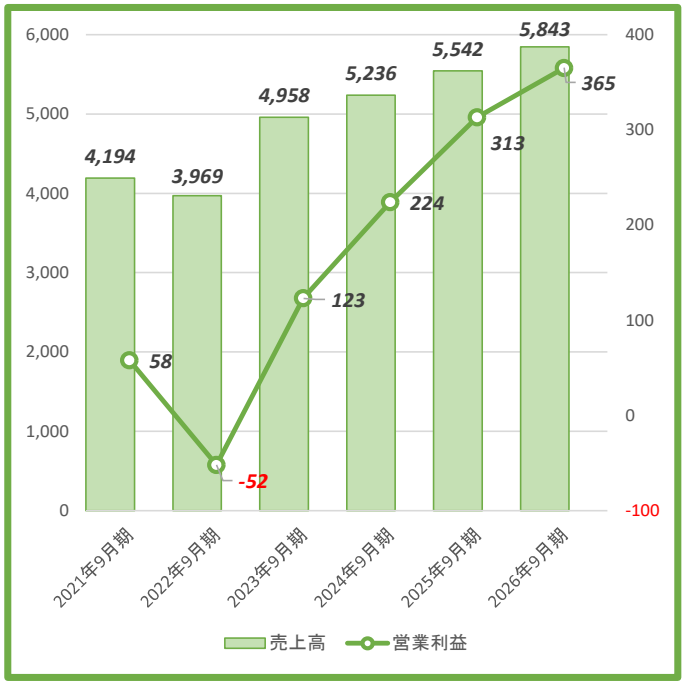
フードサービス事業

（単位：百万円）



空間プロデュース事業

（単位：百万円）



- 対前年、３セグメントともに増収増益
- スチュワード事業、新規10件開業、大型ホテル開業案件や病院マーケット開拓、既存客の契約改定が寄与
- フードサービス事業、新規18件開業が売上に大きく寄与、採用・教育などの先行投資膨らむ
- 空間プロデュース事業、金融業界での設備投資続き、大型施工案件も収益寄与

CSS GROUP

技術力×現場力による「次世代型サービスソリューション」展開









- 戦略的パートナーシップを結ぶTechMagic社に対する投資実行
- 調理現場における多用途ロボットの実装、臨海副都心テレコムセンターで未来型食堂開業
- マルチAIエージェント開発による現場変革～ホスピタリティ業界変革へ
- AI活用・実装を機会として、AIによる業務変革に向けた要件づくり～実装サポートできるエンジニア（FDE）人材の兆し、能力開発機会の拡がり

CENTRAL SERVICE SYSTEM

マルチAIエージェントシステムの現場実装







- マルチAIエージェントシステムによる定型業務の自動化
- エージェントシステム化を機会とした業務プロセスの見直し、棚卸し
- ベテランの暗黙知のしくみによる形式知化、担保およびブラッシュアップ
- システムサポートによる新人の早期戦力化、人材開発のスピードアップ

CENTRAL SERVICE SYSTEM　SENDAN, LTD.

人材育成　ESG課題への取り組み

外国人、新卒・キャリアなど採用の多様性を推進





- 事業所責任者～エリアマネージャーを意識したキャリア設計と教育計画
- 職務職能基準に則した目標設定と複数の先輩・上司の育成関与、専任スタッフによる伴走、および外国人向けの日本文化理解研修実施
- 機能的な能力発揮の実効性を強く意識した対策

CENTRAL SERVICE SYSTEM

アパートメントホテルの夜間帯運営支援業務の受託開始

収益力の向上　新たな価値創出



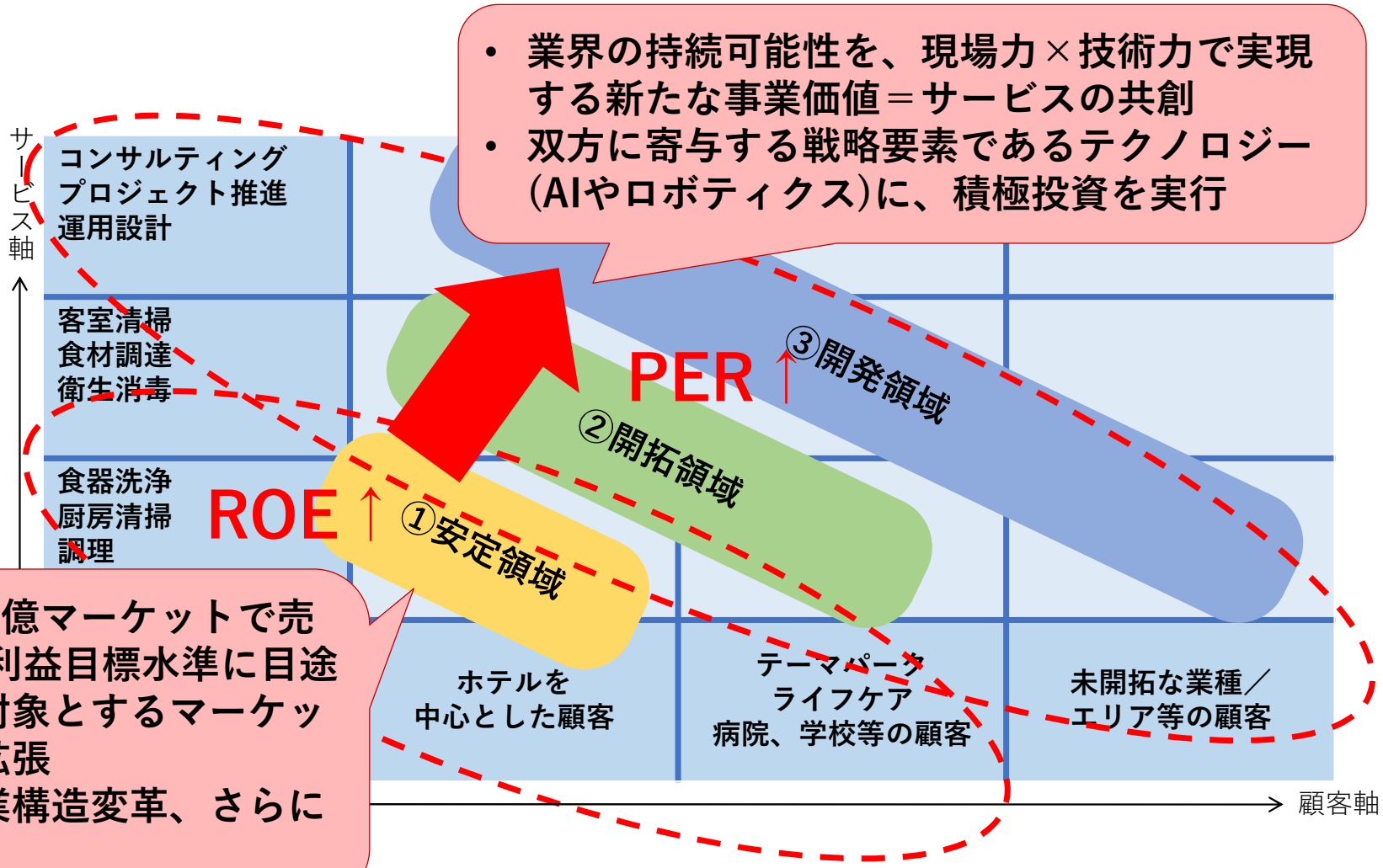


2026年10月1日開業の「MIMARU大阪 難波STATION ANNEX」

- 訪日外国人向け、多人数滞在型アパートメントホテルの大阪市内2施設において、夜間帯の館内管理・運営支援業務を開始
- 外国人とのコミュニケーション課題から品質向上へ、新たな受託対応業務として提供価値を拡張

成長戦略

2027年9月期連結業績予想	
売上高	22,000百万円
営業利益	950百万円
経常利益	950百万円
当期純利益	630百万円
EPS	127.13円



- 業界の持続可能性を、現場力×技術力で実現する新たな事業価値＝サービスの共創
- 双方に寄与する戦略要素であるテクノロジー（AIやロボティクス）に、積極投資を実行

- スチュワード事業300億マーケットで売上100億へ、3ヶ年の利益目標水準に目途
- 食と衛生をコアに、対象とするマーケットおよびサービスを拡張
- 技術力×人間力で事業構造変革、さらに高い収益性を

連結人材指標の推移

連結従業員数
( ):うちパート・アルバイト



（名）

’24年9末	’25年9末	’26年9末
6,690 (6,106)	7,448 (6,820)	7,439 (6,818)

女性管理職比率



（%）

’24年9末	’25年9末	’26年9末
18.3	14.4	10.2

シニア従業員雇用率
※65歳以上



（%）

’24年9末	’25年9末	’26年9末
18.9	18.0	18.0

パート・アルバイト
永年勤続表彰者数
※10年・20年勤務者合計



（名）

’24年9末	’25年9末	’26年9末
152	237	145

有給休暇平均取得日数



（日）

’24年9末	’25年9末	’26年9末
6.0	9.0	8.3

産・育休取得率
※女性社員



（%）

’24年9末	’25年9末	’26年9末
100	100	100

産・育休復帰率
※出産女性社員



（人）

’24年9末	’25年9末	’26年9末
5/10 (50%)	3/8 (38%)	5/5 (100%)

外国人従業員国籍数
※過去10年実績



（ヶ国）

’24年9末	’25年9末	’26年9末
82	81	81

免責事項

本資料は、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を約束するものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

CSSグループは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

お問い合わせ

株式会社CSSホールディングス　経営企画室
TEL　03-6661-7840
FAX　03-6661-7841
E-mail　hld-info@css-ltd.co.jp